

第 1 学年 英語科 学習指導案

1 単元名 NEW HORIZON English Course 1 Unit6 グリーン家の人々

2 単元の目標

- ・ 3 人称単数現在形の形，意味，用法を理解し，表現できる。
- ・ 強勢，イントネーション，区切りなどを意識して，正しく音読することができる。
- ・ 家族や友人，隣の人などの身近な人について，簡単な紹介を 5 文程度の英文ですることができる。
- ・ 本文を読み，国際語としての「英語」の役割について気付くことができる。

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族紹介らしく，相手に説明するように音読練習に取り組んでいる。 ・ 3 人称単数現在形を用いて，自分の隣の席の人について，積極的に英語で紹介しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 人称単数現在形や既習表現を用いて，身近な人について正しく英文で書いている。また，それを話したり発表したりしている。 ・ 相手に伝えることを意識して隣のことを，ビデオで紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 人称単数現在形を含む英文を聞いたり読んだりして，内容を理解している。 ・ 教科書の登場人物についての情報や本文の内容について正しく読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 人称単数現在形の形，意味，用法を理解している。 ・ トロントについて知り，教科書本文の読解を通して国際語としての英語の役割に気付いている。

4 単元と指導の構想に

(1) 単元と生徒

<単元観>

本単元では 3 人称単数現在形を学習する。人称の変化に伴い，一般動詞の形が変化するので，生徒にとっては理解が難しい。また，be 動詞と一般動詞の使い分けができない生徒もいて，学習内容が定着しにくい。

他者とコミュニケーションをとる時に，自分の紹介だけでなく，第三者について相手に紹介したり尋ねたりする場面はよくある。そこで，簡単な自己紹介ができるようになった後で，さらに 3 人称単数現在形を使って家族や友人などの身近な第三者について，別の相手に紹介したり，尋ね合ったりできるようにしていこうと考えた。この活動によって，コミュニケーションの幅が広がるだけでなく，英語を学ぶ楽しさや喜びを感じることもつながるであろう。身近な人について英語で表現することができ，他者の発表する内容を聞いて理解することができたという体験は，生徒の自信につながり，英語を学ぶ意欲を喚起するものと考えられる。

教科書本文については，日本文化の歌舞伎やカナダのトロントについての話題が出てくる。初歩的な国際理解につなげ，国際語としての英語の役割についても気付かせていく。

＜生徒の実態＞

対象とする学級には、英語に興味・関心をもち、授業に一生懸命に臨む生徒が多い。しかし、4月から5月にかけて行ったアルファベット（大文字・小文字）を書くテストでは、3回目の実施でも、すべて正しく書ける生徒は半数に満たなかった。単語練習の課題を出しても、集中力が続かず、すぐにやめてしまい、地道に練習する習慣があまり見られない生徒が数名いる。また、3～4名の生徒が「音読すること」や「書くこと」に困難な状態を抱え、自分一人ではなかなか学習が進まず支援が必要になってきている。単語や教科書本文が正しく読める、基本文の構造、意味、使い方が分かる、そして単語や基本文型を確実に書けるように指導していく必要がある。

一方で、コミュニケーション活動に意欲的に取り組む生徒たちなので、本単元での3人称単数現在形を使って身近な人について相手に紹介したり、尋ね合ったりできるようになることは、さらに英語学習への自信につながると考えている。ペアでの音読練習や暗記、言語活動は普段の授業でほぼ円滑に進めることができているので、本単元でもお互いに協力したり教え合ったりできる活動や課題を工夫したい。

（2）指導の構想

本研修におけるテーマは「基礎・基本の定着を目指した音読指導と表現力向上に向けての指導の工夫」である。次の点を実践し、授業改善を行いたい。

① 基礎・基本の定着の工夫

- ・教師と生徒のInteractionを多く取り入れる。（Warm-upでの英問英答など）
- ・新出単語の練習方法を工夫する。

単語練習を家庭学習の課題にするだけでなく、授業中にも練習する時間をとり、新出単語の定着を図る。単元の終わりに単語テストを実施し、定着を見取る。

- ・基本文のドリル練習を工夫する。

新出基本文の口頭練習、インプット活動、さらに書く活動につなげ、単元の終わりに基本文テストを実施し、基本文の定着を見取る。

②音読指導の工夫

- ・音読練習時、読むことが苦手な生徒に個別に指導する。
- ・音読形態のバリエーションを増やし、飽きさせない工夫をする。
- ・音読の評価方法を工夫する。

学期に一度くらい音読テストを実施する。評価の観点を1～2つ程度に絞り、生徒が達成感をもてるように工夫する。

- ・暗記した基本文や教科書本文を書く活動へとつなげる時間を確保し、方法を工夫する。

③生徒が「分かる」と実感できる授業

- ・その単元の活動の目的を明確にし、生徒に動機付けする。
- ・その時間の目標を明確にし、発問、指示、説明の仕方を工夫する。
- ・生徒同士が協力し、学び合える場を設定する。
- ・ワークシートに自己評価やその時間で分かったことを記述する欄を設け、生徒の理解を確認する。

5 単元の指導計画（全7時間）

時	○ 学習のねらい ・主な学習活動	評価の観点				
		関	表	理	知	具体的内容
1	○ 本単元の目標を理解する。 ・ALT に自分の隣の席の人を紹介する活動を行うことを知らせる。 ○ 3人称単数現在形（肯定文）の形・意味・用法を理解する。 ・ピクチャーカードを用いた口頭練習	○	○			・3人称単数現在形（肯定文）の形・意味・用法が理解できる。（応答、ワークシートなど）

	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞き，ポイントをノートにまとめる。 ・発音練習，練習問題 ○ 本文の概容をとらえる。(P.50 Part1) ・TF QA ・語句の発音練習 				○	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容を大まかに理解し，TF QAに答えることができる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単語 (P.50 Part1) を覚える。 ・単語練習 ○ 3人称単数現在形 (肯定文) を確認し，理解を深める。 ・ピクチャーカードを用いた口頭練習 ○ 本文のまとめ (P.50 Part1) をし，定着を図る。 ・内容の確認と解説 ・音読練習 ○ 本文をインプットする。 ・ペアで本文をインプットする。 ・インプットに取り組んだ文を書く。 				○	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を覚えようと努力し練習に取り組むことができる。 ・インプット活動に意欲的に取り組むことができる。インプットに取り組んだ文を書くことができる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文をインプットする。(P.50 Part1 2回目) ・ペアで本文をインプットする。 ○ 3人称単数現在形 (疑問文と応答文，否定文) の形・意味・用法を理解する。 ・ピクチャーカードを用いた口頭練習 ・説明を聞き，ポイントをノートにまとめる。 ・3人称単数現在形 (疑問文と応答文) を使った言語活動 ・活動で話した文を書く。 ・ワークシートの自己評価欄記入 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・インプット活動に意欲的に取り組み，本文をインプットできる。 ・3人称単数現在形 (疑問文と応答文，否定文) の形・意味・用法が理解できる。(応答，活動，ワークシートなど)
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3人称単数現在形 (疑問文と否定文) の確認をする。 ・ピクチャーカードを用いた口頭練習 ○ 本文の内容理解 (P.52 Part 2) をする。 ・TF QA ・内容の確認と解説 ・語句の発音練習と本文の音読練習 ○ 本文をインプットする (P.52 Part 2) ・ペアで本文をインプットする。 ・インプットに取り組んだ文を書く。 				○	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解し，TF QAに答えることができる。 ・インプット活動に意欲的に取り組むことができる。インプットに取り組んだ文を書くことができる。

5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単語 (P.52 Part 2) を覚える。 ・ 単語練習 ○ 本文をインプットする。(P.52 Part 2 2回目) ・ ペアで本文をインプットする。 ○ 本文の内容を理解 (P.53 Part 3) する。 ・ TF QA ・ 内容の確認と解説 ・ 語句の発音練習 					○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文内容を理解し, TF QA に答えることができる。
6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単語 (P.53 Part 3) を覚える。 ・ 単語練習 ○ 本文の復習 (P.53 Part 3) をする。 ・ 音読練習 ○ 本文や基本文をインプットする。 ・ ペアで本文をインプットする。 ○ ALT のモデルプレゼンテーションをビデオで見る。 ○ 自分の隣の席の人についてのスピーチ原稿を考える。 ・ 隣の人についての紹介文を書く。 ・ ワークシートの自己評価欄記入 	○				○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音読練習やインプット活動に意欲的に取り組むことができる。 ・ 隣の人について 5 文程度の英文を書くことができる。(ワークシート)
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 撮影前の練習をする。 ・ 読めない語を確認する。 ・ 自分が書いた文をペアで音読練習する。 ・ ペアでビデオ撮影に臨む。 ○ Unit6 の単語テスト, 基本文テストで, 定着度を測る。 ・ ワークシート ・ 自己評価欄記入 	○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォービー先生に見てもらうことを意識させる。 ・ ペアで教え合いながら練習し, 意欲的にビデオ撮影に臨むことができる。 ・ 単語, 基本文を書くことができる。

6 本時の学習 (全7時間, 本時6時間目)

(1) 本時のねらい

- ・ 単語練習, インプット活動に意欲的に取り組んでいる。
- ・ 強勢, イントネーション, 区切りなどを意識して, 教科書本文を正しく音読することができる。
- ・ これまで暗記してきた基本文や教科書本文を参考にして, 3人称単数現在形を使って自分の隣の席の人について, 第三者に紹介する5文程度の英文を書くことができる。

(2) 本時の構想

- ・ 集中して覚えるための単語練習の時間を確保する。
- ・ 教科書本文の音読練習で生徒が強勢, イントネーション, 区切りなどを意識できるよう, それらを書き込んだワークシートを用いて練習させる。
- ・ 音読練習の量を確保する。
- ・ 既習事項やこれまで暗記してきた教科書本文などを参考に, 3人称単数現在形を使って自分の隣の席の人についての英文を書かせる。
- ・ 次の時間に ALT に隣の人を紹介するビデオ撮影があることを再確認し, 練習の目的を明確にして意欲をもたせる。
- ・ 周囲の人と教え合う場をもたせる。

(3) 本時の展開と評価

学習内容・活動	主な教師の働き掛け(○)と生徒の反応(・)	指導上の留意点と評価
Warm-up ・あいさつ ・単語練習(2分)	○ あいさつをする。 ・元気よくあいさつする。 ○ 本時の流れを確認する。次の時間に ALT に自分の隣の人を紹介するビデオ撮影があることを伝える。 ・本時の見通しをもち、隣の人紹介に意欲をもつ。 ○ P.53 Part 3 の単語の意味、発音を確認した後、単語練習の指示をする。 ・大きな声で発音する。真剣に単語練習に取り組む。	留：分かりやすい発音を心がける。 評：集中して練習できているか机間指導で確認する。
教科書本文の復習 (P.53 Part 3)	○ 簡単に本文内容の確認をする。 ・内容を思い出させるために、CD を一回聞かせる。 ・内容について生徒に質問する。 ・集中して CD を聞き、教師の質問に答える。	留：分かりやすい質問
本文の音読練習	○ P.53 の本文に強勢やイントネーションなどを書いたワークシートを配り、音読練習させる。 ・句読みをする。 ・ピリオドまで読む。 ・CD の速度にチャレンジして音読する。	評：全員が発音練習に一生懸命に取り組んでいるか。
本文のインプット	○ 本文のインプットにチャレンジしよう。 ・look up を入れて読む。 ・ペアで本文をインプットする。 ・暗記しようと真剣に取り組む。	評：全員がインプット活動に一生懸命に取り組んでいるか。 留：読み方が分からない生徒を支援する。
隣の人紹介	○ ALT のモデルプレゼンテーションをビデオで見せ、インタビューする項目や内容をつかむ。 ・興味をもってビデオを見る。 ・何をインタビューすればよいかをつかむ。	留：メモをとりながら活動させる。
原稿作りのためのインタビュー活動	○ 紹介文を書くために隣の人に英語でインタビューしよう。 ○ 4人グループになる。 ○ インタビューのやり方と、グループの協力の仕方を説明する。 ・意欲的にインタビュー活動をする。	留：メモをとりながら活動させる。
原稿書き	○ ALT のモデル文や Unit6 の本文を参考に隣の人を紹介する英文を書こう。	評：学習した英語を使って隣の人についての紹介文を書くことができるか。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分からないことがあれば，調べたり教師に聞いたり，グループの生徒同士で教え合うよう伝える。 ・メモを基に，モデル文や既習の文を参考にしながら英文を書く。分からないところはグループの生徒同士で教え合いながら英文を考えて書く。 	<p>留：英文が書けずに困っている生徒を支援する。</p>
<p>まとめ 次時の連絡</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートの自己評価欄を記入するよう指示する。 ○ ワークシート（隣の人紹介の原稿・自己評価）を提出するよう指示する。 ○ 次時は原稿を読む練習をし，ビデオ撮影があることを確認する。 ・連絡を聞き，次時への学習意欲をもつ。 	